

本書面では、公開用として、控訴人（訴えた人）を除き実名等の表示を赤字の括弧書きで変更しています。
人物や団体等の表記はこれまでのレポートと共通です。黒字の部分は提出した書面そのままです。

平成 19 年（ネ）第 1 8 5 号 損害賠償等控訴事件

（原審：東京地方裁判所平成 18 年（ワ）第 7583 号 損害賠償等請求事件）

甲号証証拠説明書（1）

平成 19 年 2 月 5 日

東京高等裁判所民事 1 9 部 御中

控 訴 人 戸 崎 貴 裕 印

番号	提出		立証趣旨等		
	期日	標目	作成者 (記録者)	作成年月日 (全て平成)	立証趣旨
甲 24	第 1 回	訴外生活妨害 行為等映像及 び音声	控訴人 (記録者)	17 年 2 月より 撮影した映像 の一部を 19 年 1 月にまと めたもの。	別途準備書面(2)に て証拠説明を行う。
甲 25	第 1 回	別冊シニリスト	有斐閣	18 年 9 月 30 日	1) 医療保護入院対象 者は判断能力を欠く 者に限定されるべき という有力な学説か ら任意入院が行われ る状態に無いという 趣旨の条文が追加さ れた事を立証する。 2) 保護者の同意が同 意入院（現医療保護 入院に相当）におけ る人権保障上の欠陥 を補う重要な制度と した判例についての 記事を示す。

本書面では、公開用として、控訴人（訴えた人）を除き実名等の表示を赤字の括弧書きで変更しています。
人物や団体等の表記はこれまでのレポートと共通です。黒字の部分は提出した書面そのままです。

甲 26	第 1 回	(T 医師)宛の 内容証明	控訴人	平成 18 年	被控訴人 A 及び B の 主張にある (T 医師) の助言が事実である かの確認を行った内 容証明文書を示す。
------	-------	------------------	-----	---------	--

以 上